

■コメント

1. ヘルパンギーナ

定点当たり1.13人と、例年同時期と比べてまだ多い状態が続いています。

2015年第1~33週の小児科定点からの累積報告数(609件)の年齢階層別割合をみると、1歳(27.6%)、2歳(19.9%)、3歳(17.7%)の順に多く、1~3歳が全体の65.2%を占めています。

手洗いうがいの励行を心がけるなど感染予防対策を徹底しましょう。

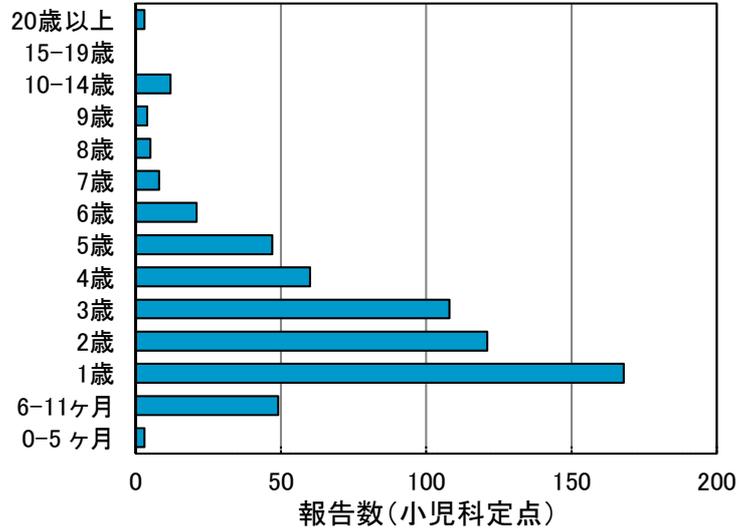
2. 流行性耳下腺炎

定点当たり1.08人と、例年同時期と比べて多くなっています。

流行性耳下腺炎は、季節変動はあまりなく、3~4年の周期で流行する傾向があります。(次頁参照)

流行の周期から推測すると、今後さらに増加する可能性があり、注意が必要です。

小児科定点からのヘルパンギーナ 年齢階層別報告数
2015年累計(第33週現在)



第33週はお盆期間中であり、医療機関の休診の影響で、実際の患者数よりも少なく報告されている可能性があります。そのため、「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	増減状況										
												急増減	増減	微増減								
小児科	インフルエンザ	-	-	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	26	1.08	0.70		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減								
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.48			RSウイルス感染症	1	0.04	0.29		増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23	0.96	0.34		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減								
	感染性胃腸炎	51	2.13	2.35			流行性角結膜炎	9	1.13	0.81		横ばい	→	ほとんど増減なし								
	水痘	6	0.25	0.63		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。										
	手足口病	66	2.75	1.29			無菌性髄膜炎	2	0.29	0.17		<table border="1"> <tr><td>インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)</td><td>37</td></tr> <tr><td>小児科定点数</td><td>24</td></tr> <tr><td>眼科定点数</td><td>8</td></tr> <tr><td>基幹定点数</td><td>7</td></tr> </table>			インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37	小児科定点数	24	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37																				
	小児科定点数	24																				
	眼科定点数	8																				
	基幹定点数	7																				
伝染性紅斑	3	0.13	0.17		マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.20														
突発性発しん	9	0.38	0.39		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-														
百日咳	-	-	0.01		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-														
ヘルパンギーナ	27	1.13	0.66																			

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	梅毒	1	7	女性(10歳未満)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			第29週	-	9	49	125	3	117	6	11	1	90	46	2	3	12	-	-	2	-	-	1
第30週	-	15	62	102	13	105	14	12	1	55	35	-	-	14	-	2	1	-	-	-	-	-	
第31週	-	13	47	115	6	117	15	13	1	104	57	1	-	13	-	-	4	-	-	-	-	-	
第32週	1	18	44	95	10	127	14	11	1	45	41	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	
第33週	-	8	23	51	6	66	3	9	-	27	26	1	-	9	-	2	3	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第29週	-	0.38	2.04	5.21	0.13	4.88	0.25	0.46	0.04	3.75	1.92	0.08	0.38	1.50	-	-	0.29	-	-	0.14	-
		第30週	-	0.63	2.58	4.25	0.54	4.38	0.58	0.50	0.04	2.29	1.46	-	-	1.75	-	0.29	0.14	-	-	-	-
		第31週	-	0.54	1.96	4.79	0.25	4.88	0.63	0.54	0.04	4.33	2.38	0.04	-	1.63	-	-	0.57	-	-	-	-
		第32週	0.03	0.75	1.83	3.96	0.42	5.29	0.58	0.46	0.04	1.88	1.71	-	-	0.50	-	0.43	-	-	-	-	-
		第33週	-	0.33	0.96	2.13	0.25	2.75	0.13	0.38	-	1.13	1.08	0.04	-	1.13	-	0.29	0.43	-	-	-	-
	全国	第31週	0.06	0.50	1.70	3.58	0.30	10.26	0.71	0.59	0.02	3.05	0.58	0.23	0.01	0.86	0.01	0.08	0.35	0.01	0.01	0.01	0.01
第32週	0.05	0.47	1.46	3.40	0.29	8.95	0.62	0.60	0.02	2.61	0.53	0.30	0.02	0.88	0.02	0.06	0.40	0.01	0.01	0.02	0.02		

■新たに判明した病原体検出状況

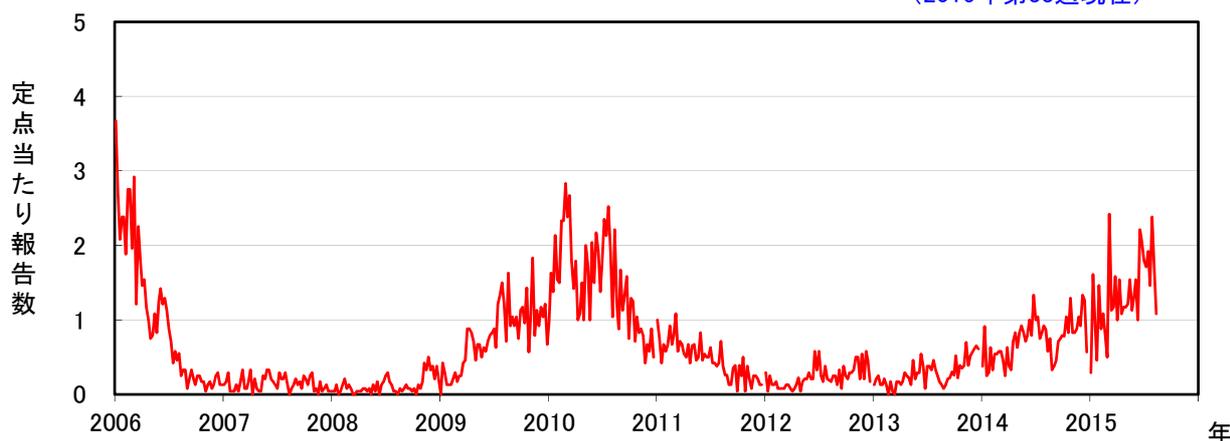
(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	発熱(39.2) 嘔吐 髄膜炎	7	男	2015/07/04	髄液	エコーウイルス18型
その他の消化器疾患	嘔吐 腸重積	1	男	2015/06/03	糞便 尿	アデノウイルス1型
その他の消化器疾患	腸重積	3	女	2015/06/26	糞便 尿	アデノウイルス1型
その他の消化器疾患	嘔き気 腹痛 腸重積	1	女	2015/07/03	糞便	アデノウイルス1型
その他の呼吸器疾患	発熱 上気道炎 リンパ節腫脹 唾液腺腫脹	8	女	2015/06/12	咽頭拭い液	ムプスウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.3) 上気道炎 熱性痙攣	2	女	2015/07/01	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(38.8)	0	男	2015/07/04	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の最近10年間の発生動向

(2015年第33週現在)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第33週(8月10日~8月16日)